

[不透明部分を選択範囲に／クイックマスクモード]

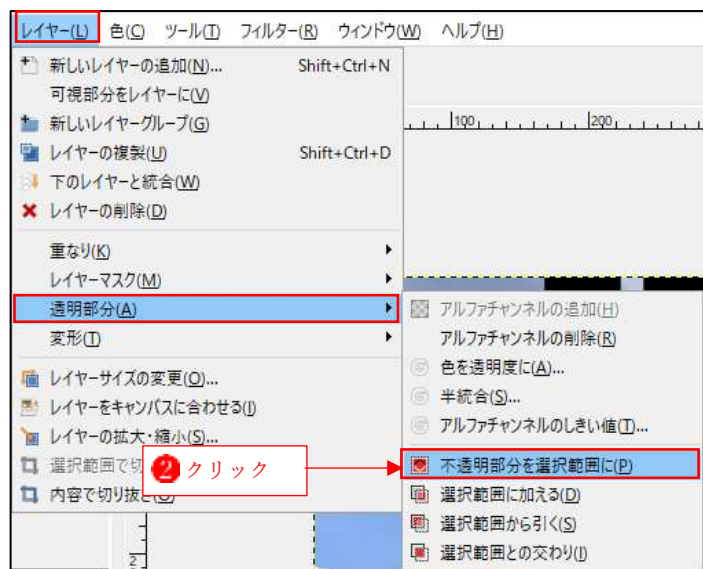
1 レイヤー画像の不透明部分から選択範囲を作成する

①サンプルデータを開きます。

[レイヤー]ダイアログを確認します。
この画像には3つのレイヤーが含まれています。
[風船]と[文字]の2つのレイヤーには、それぞれ透明部分があります。



②[レイヤー]ダイアログで[風船]レイヤーを選択し①、[レイヤー]メニューの[透明部分]→[不透明部分を選択範囲に]をクリックします②。これで選択範囲が作成されます③。



③[選択]メニューの[選択を解除]をクリックしてから、[レイヤー]ダイアログで[文字]レイヤーのレイヤーサムネールを Alt を押しながらクリックします④。これで選択範囲が作成されます⑤。

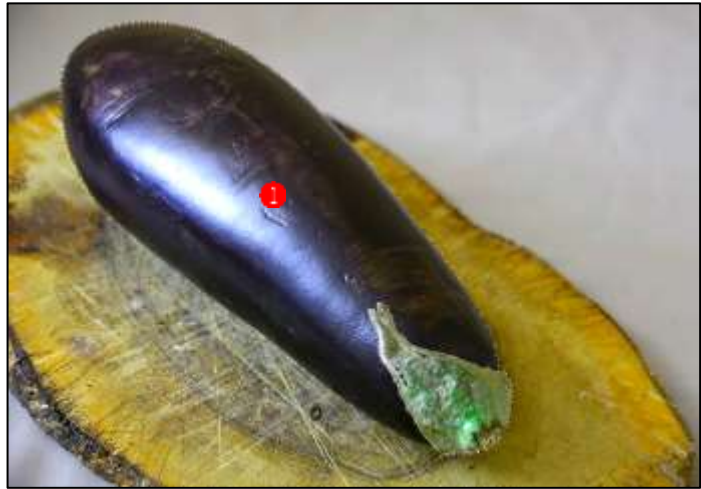


✚ レイヤー画像の不透明部分だけの選択範囲を作成するとき、[選択]メニューから[不透明部分を選択範囲に]を使う場合は、対象レイヤーを選択してから実行する必要があります。レイヤーサムネールを Alt を押しながらクリックの場合は、現在選択されているレイヤーに関係なく選択範囲を作成できます。

2 [クイックマスクモード]で選択範囲を修正する

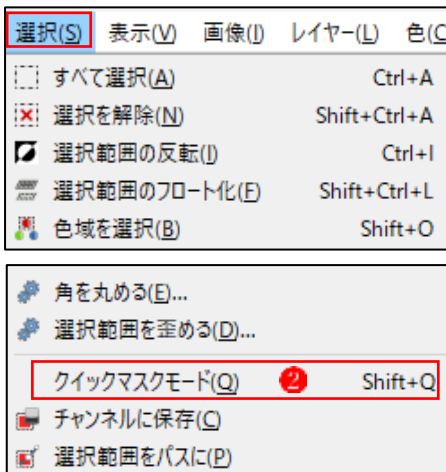
[クイックマスクモード]を使うと、選択範囲を画像のように描画・編集できます。

- ① サンプルデータを開きます。ツールなどを使って、なすの選択範囲を作成します¹。この選択範囲を[クイックマスクモード]で修正します。



- ② [選択]メニューの[クイックマスクモード]²をクリックします。

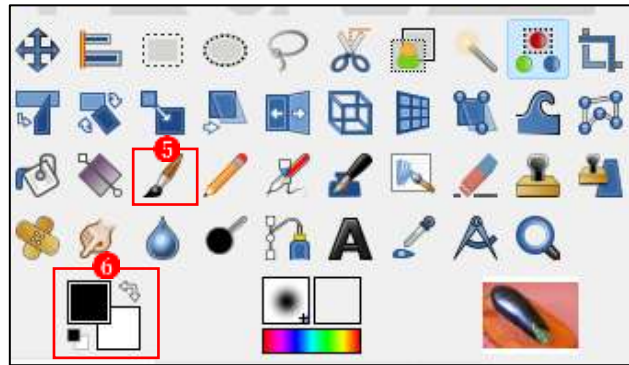
なお、対象ウィンドウの左下にある³のボタンをクリックしても[クイックマスクモード]に切り替えられます。



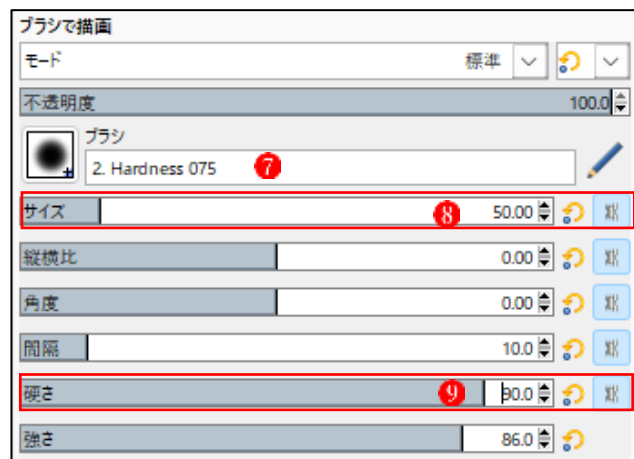
- ③ [クイックマスクモード]に切り替わると、画像に赤いシートを重ねたように表示されます⁴。画像の色がそのまま見える部分は選択範囲内、赤いシートが重なっている部分が選択範囲外を表します。選択範囲の境界の破線は表示されません。



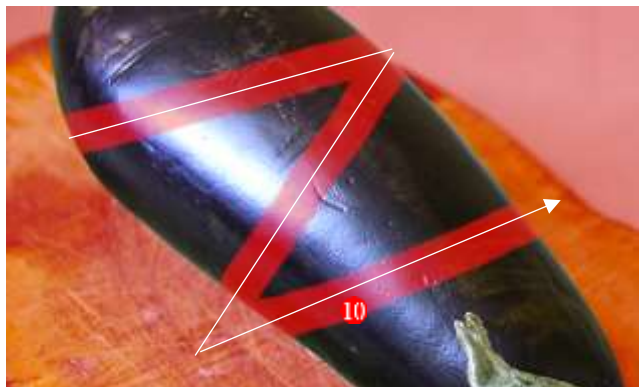
- ④[ツールボックス]で[ブラシで描画]をクリックし、さらに[描画色と背景色のリセット]をクリックして[描画色]を黒、[背景色]を白に設定します。



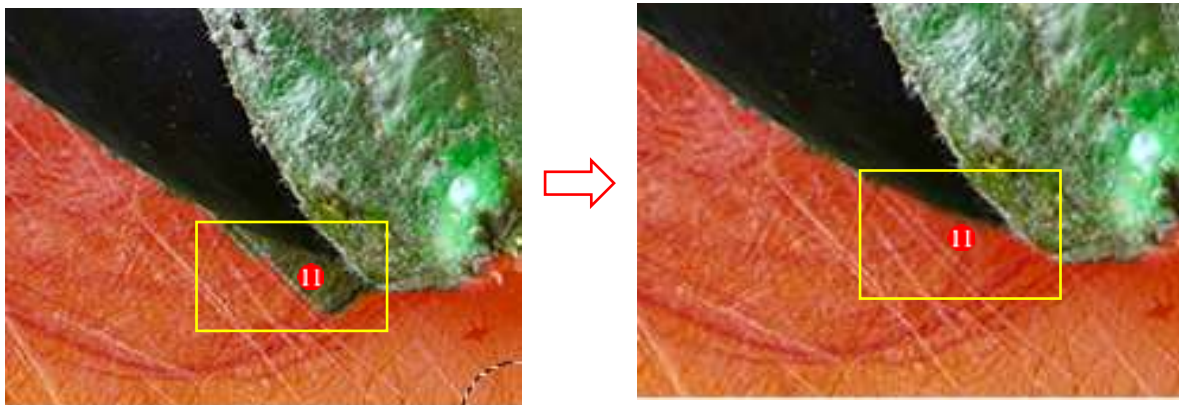
- ⑤[ツールオプション]ダイアログで、[ブラシ]で[2,Hardness 075]を選択し⑦、[サイズ]を[50]程度⑧、[硬さ]を[90]程度⑨に設定します。



- ⑥画面内をドラッグしてみましょう⑩。ドラッグした部分で赤い範囲が広がり、つまり選択範囲が狭まります（黒で描画すると選択範囲が狭まる）。Ctrl+Zで元に戻します。



- ⑦選択範囲が広がりすぎている部分⑪を、クリックやドラッグでていねいに修正します。[サイズ]や[硬さ]は、適宜変更して使いましょう。



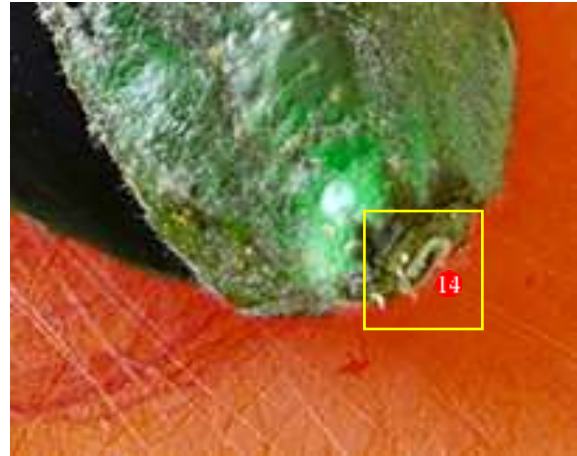
⑧[ツールバー]で[描画色と背景色を交換します]をクリックし、[描画色]を白に設定します¹²。



画面内でドラッグしてみましょう¹³。ドラッグした部分の赤い範囲が狭まり、つまり選択範囲が広がります（白で描画すると選択範囲が広がる）。Ctrl+Zで元に戻します。



⑨選択範囲を広げたい部分¹⁴を、クリックやドラッグでていねいに修正します。



⑩修正が終わったら、[選択]メニューの[クイックマスクモード]をクリックします。選択範囲が破線の境界線表示に切り替わります⑮。

